

貸 借 対 照 表

2022年 2 月28日現在

単位：百万円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流 動 資 産	21,532	流 動 負 債	18,566
現金及び預金	2,155	支払手形	38
売掛金	2,644	電子記録債務	7,466
商品	9,854	買掛金	7,374
貯蔵品	28	リース債務	84
前払費用	6	未払金	2,093
関係会社短期貸付金	5,000	未払法人税等	8
関係会社預け金	1,528	前受金	144
未収入金	255	預り金	582
その他	58	前受収益	0
固 定 資 産	1,239	賞与引当金	773
有 形 固 定 資 産	543	固 定 負 債	50
建物	67	リース債務	50
車両運搬具	0	負債の部合計	18,616
器具備品	354	純資産の部	
リース資産	121	株 主 資 本	4,155
無 形 固 定 資 産	13	資 本 金	10
ソフトウェア	13	資 本 剰 余 金	2
投 資 そ の 他 の 資 産	682	資本準備金	2
長期前払費用	0	利 益 剰 余 金	4,142
繰延税金資産	706	その他利益剰余金	4,142
敷金	5	繰越利益剰余金	4,142
貸倒引当金	△ 28	(うち当期純利益)	(1,502)
		純資産の部合計	4,155
資産の部合計	22,771	負債・純資産の部合計	22,771

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

建物	定額法
その他	定率法

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	3～42年
----	-------

(2) 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法を採用しております。

(3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

2. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に支給する賞与の引当額として支給見込額に基づき計上しております。

(2) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

3. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。なお、振当処理の要件を満たす為替予約については振当処理を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

貸借対照表に関する注記

関係会社に対する金銭債権・債務

金銭債権	6,539 百万円
金銭債務	667 百万円

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引	8,045 百万円
営業取引以外の取引	10 百万円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産発生 の主な原因は、減損損失、棚卸資産等であります。

関連当事者に関する注記

親会社及び関連会社等

属性	会社等の 名称又は 氏名	議決権等 の所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容		取引の 内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
			役員の 兼任等	事業上の 関係				
親会社	株式会社 ミスターマックス・ ホールディングス	(被所有) 直接 100%	役員 2 名	店舗等 賃借 及び 経営指導 の委託	経費等 の立替	540	未払金	667
					資金の貸付	4,512	関係会社 短期貸付金	5,000
					売上金等 の預け	2,064	未収入金	11
							関係会社 預け金	1,528
					不動産の 賃借	6,088	－	－
					経営指導 の委託	1,774	－	－

(注) 上記の金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

1 株当たり情報に関する注記

1. 1 株当たり純資産額	16,621,503 円
2. 1 株当たり当期純利益	6,010,905 円

重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。